

製品名: PEX19 (2Y10) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe16002**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF, FC, IP
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000, ICC/IF 1:50-1:100, FC 1:10-1:100, IP 1:10-1:100
分子量	33kDa

抗原情報

遺伝子名	PEX19
別名	HK33; PBD12A; Peroxin 19; PEX19; PMP1; PMPI; PXF; PXMP1;
遺伝子 ID	5824.0
SwissProt ID	P40855
免疫原	ヒト PEX19 の合成ペプチド

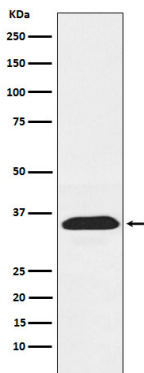
背景

初期のペルオキシソーム生成に必要。細胞質シャペロンおよびペルオキシソーム膜タンパク質 (PMP) の輸入受容体として機能します。疎水性膜貫通ドメインと相互作用することにより、細胞質で新しく合成された PMP に結合して安定化し、内在性膜タンパク質 PEX3 に結合してペルオキシソーム膜に誘導します。初期のペルオキシソーム生成に必要。細胞質シャペロンおよびペルオキシソーム膜タンパク質 (PMP) の輸入受容体として機能します。疎水性膜貫通ドメインと相互作用することにより、細胞質で新しく合成された PMP に結合して安定化し、内在性膜タンパク質 PEX3 に結合してペルオキシソーム膜に誘導します。CDKN2A を核から排除し、MDM2 との相互作用を阻害して TP53 の活性分解を引き起こします。

研究分野

-

画像データ



Jurkat 細胞溶解物中の PEX19 発現のウェスタン ブロット分析。